

観光人材育成の具体的取り組みは

体験プログラム主催者の育成や情報発信勉強会を開催し、観光人材の育成を図る



ふるかわ ゆきひろ
古川 幸宏
自由民主党田原市議団



観光施策について

問 観光客を市内での宿泊や周遊につなげるための取り組みは。

答 観光団体や観光事業者等と密に連携しながら、地域資源を活用した体験プログラム等の磨き上げと情報発信、観光人材の育成を推進し、田原市内の豊富な観光資源をテーマやストーリーでつなぎ、市内での宿泊や周遊につなげられるよう取り組んでいる。

問 広域観光の取り組みは。

答 県と市町村・観光団体等が連携した首都圏での観光商談会や、愛知の公式観光サイト等での多言語による情報発信を行っているほか、三河湾の観光利用を目的とした商談会や旅行会社へのセールスなどを実施している。各地域に点在する観光資源をつなぎ、エリアとしての魅力をさらに高めていくことが大切であると考え、広域観光への積極的な参画に努めている。

問 観光人材育成の具体的な取り組みは。

答 市民提案企画の活用や、たはら巡り～などの体験プ

ログラム主催者の育成、観光事業者等と連携したおもてなしガイド養成などにも取り組んでいる。今年度は新たに情報発信勉強会を開催し、自ら情報発信できる観光人材の育成を図っていく。

問 広域連携を生かしたインバウンド誘客の取り組みは。

答 本年度は台湾およびタイの旅行会社を招き、本市の魅力を感じてもらい、タイのインフルエンサーによる情報発信事業にも取り組んでいく。



地域包括ケアシステムのさらなる推進について

問 高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らすため、また、社会参加や生きがいづくりの介護予防等を目的とした通いの場の充実に向けた取り組みは。

答 高齢化率が市内で最も進んでいる、蔵王地区をモデル地区として住民主体による通いの場が設置され、総合事業に位置付けることで、要支援者等も住み慣れた地域で継続して活動できる仕組みとなっている。

問 高齢者の地域における移動を支える仕組みの取り組みは。

答 地域公共交通会議や福祉有償運送運営協議会で高齢者等の現状を共有し、地域のニーズ把握や地域における移動を支える仕組みについても検討を行い、昨年度から、ぐるりんバスのデマンド運行の実証実験を行った。さらに、今年度から公共ライドシェアの実証実験も開始される。

当事者の声を発信する機会を増やし、認知症施策に生かすための考え方は

認知症当事者が安心して語り合える場等を増やしていく



ないとう きくえ
内藤 喜久枝
自由民主党田原市議団

